

日本地球惑星連合大会

4月30日に横浜で開催された日本地球惑星連合大会の中で、ジオパークの考え方についての講演や、日本ジオパークと世界ジオパークを目指す地域の取組の発表及び公開審査が行われました。

ジオパークが日本で始まった頃は、認知度が低かったのですが、最近は各地域の新聞やメディアで取り上げられる事が多くなりました。当初、こうしたジオパークの大会の参加者は100名に満たなかったのですが、年々参加者が増え、大きな会場での開催へと変わっています。現在三十三カ所の日本ジオパークがあり、そのうち世界ジオパークは六カ所です。現地に行つて「見る・食べる・学ぶ」活動を目指し、それぞれの地域で取組が行われています。(日本ジオパーク委員会の尾池委員長)

三陸ジオパークなどでは、ジオパークを防災教育としても取り入れていきます。地質を知ることと、災害と向き合えるようになったという話も聴くことが出来ました。ジオパークの活動では、様々な人の連携が重要であると再認識しました。

他のジオパークの地域の方々より

日本地球惑星連合大会の参加者で、女性二人組の「ジオガシ旅行団」はとてもユニークな取組をしていました。伊豆半島ジオパークでツアーガイドもしている二人は、その名の通りジオパークに関連したお菓子を作り、販売しています。地元の産品を利用し、景観の一部を再現しています。説明もそれぞれに添えてあり、お菓子を食べながら石の特徴を知ることができます。

また、日本ジオパーク隠岐大会に参加された方々が沢山来られており、中にはタクシーの運転手さんから地質の詳しい説明を聞かれた方もいらっしゃいました。

ジオガシ旅行団



3つの体験が詰まった新しいお土産です。



ジオガシ 検索

隠岐世界ジオパークで、つながりを見つけよう！

隠岐は、離島ならではの「大地の成り立ち」「独自の生態系」「人の営み」とそのつながりが分かる場所として、世界ジオパークに認定されました。今回は、知夫のつながりがわかる場所を紹介します。



赤ハゲ山からの風景

赤ハゲ山（牧畑とカルデラ）

赤ハゲ山からは、まるで並んだ島々と中央の山からなる火山由来のカルデラ地形が一望できます。この周辺に広がる放牧地と石垣は牧畑のなごりで、カルデラの地形と環境をうまく利用してできた先祖代々の「人と大地のつながり」のひとつです。

◆隠岐の島町の「隠岐自然館」、西ノ島町の「ふるさと館」では、こうしたつながりを紹介するコーナーを設置しています。

隠岐ジオパークWAONはご存じですか？

WAONは、加盟店で買い物をするポイントが溜まるカードです。「隠岐ジオパークWAON」は、全国どこの加盟店で利用しても、利用金額の一部が「隠岐ジオパーク」の保全活動に活用されるカードです。中国エリアの各イオンのお店で販売しております。



隠岐の島町

隠岐世界ジオパーク観光周遊バス（隠岐ジオパークデビューの旅）運行開始

隠岐の島町では、4月26日から世界に認められたジオサイトの魅力を満喫していただく観光周遊バスを運行いたします。ガイドが同乗しての、分かりやすい解説付きです。是非ご乗車ください！

【運行コース】①だんぎよう（西回り）コース 午後1時出発②ちちすぎ（東回り）コース 午前9時出発

【所要時間】両コースとも3時間半〜4時間

【運行期間】4月26日〜10月26日 ※期間中の土日祝日を中心に100日程度運行の予定です。

【料金】大人5千円、小人3千円 ※運行日等詳細は先のウェブサイトからご覧下さい。隠岐旅工舎 電話（08512）27100（隠岐の島町観光課）



隠岐旅工舎

検索

海士町

岩がきのシーズン

海士町では、3月から岩がきの現場が出荷作業に追われています。この岩がきが育つ保々見湾には名水百選にも選出された天川の豊富な養分を含む湧水が注いでいます。この恵まれた環境で3年以上かけてゆっくりと育てられた岩がきは大きく育ちます。

海から揚げてきた岩がきには海藻やフジツボなどがビッシリ。そのため、商品として出荷するために表面の付着物を落とす必要があります。表面を綺麗に磨いた後、サイズごとに選別し出荷されていきます。岩がきは一一つ形が違うため、出荷されるまでのほとんどの作業に人の手が加わります。海士町の岩がきを食

べる際は、味はもちろんのこと、美しくなるまで大切に育てた生産者の岩がきへの想いも噛み締めてみてはいかがでしょうか。（海士町観光協会）



西ノ島町

ふるさと館リニューアルオープン

4月12日に西ノ島ふるさと館リニューアル記念イベントを開催しました。入館記念品として用意していたマグネットセット1000個が無くなり、約140名の入館者が新しい展示を見学しました。

また、隠岐の島町から今回特別に天然記念物のオキサンショウウオが展示され、大人気でした。他にガイドと一緒に館内探検、クイズラリーも行われ、楽しみながら見学ができました。また「じょんじょん」のクラフト体験では西ノ島の海産物について学びながらメザシとイカのストラップを作りました。今年は10月まで様々なイベントを企画していますので、その際は皆様お誘い合わせの上、この島の良い所を再発見しにご来場下さい。入館料…町民無料（大人300円、大学・高校生200円、中・小学生150円）（西ノ島町観光協会）



知夫村

お大師参り

4月20日に「お大師参り」が村の全地区で行われ、大いに賑わいました。この「お大師参り」は、弘法大師（空海）の命日（旧暦3月21日）を縁日として、島内の寺やお堂の計九カ所（昔は十カ所以上ありました）を巡拝する風習で、老若男女問わずに村民がこぞって信仰に

関係なくお参りします。お茶やお菓子、煮しめ、漬け物といった接待が主流ですが、地区によっては、おでんやうどん、カレーライスなどといったものもあり、いわゆる四国八十八箇所のミニチュア版です。来年は5月9日です。（知夫村観光振興課）



隠岐世界ジオパーク新聞へのご質問、ご意見、ご要望は下記までお寄せください。



☎ (08512) 2-9636



FAX (08512) 2-9626

隠岐世界ジオパーク推進協議会事務局

〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24番地
(隠岐支庁3階 県民局内)

メール info@oki-geopark.jp